



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月10日

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所 東  
 コード番号 6396 URL http://www.unozawa.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田村 博 (TEL) 03-3759-4191  
 兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	3,816	16.8	48	236	47	829	38	—
28年3月期第3四半期	3,267	12.2	14	—	5	—	△14	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第3四半期	3.48		—					
28年3月期第3四半期	△1.27		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	7,195	1,560	21.7
28年3月期	6,723	1,521	22.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,560百万円 28年3月期 1,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※29年3月期の期末配当予想は未定です。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご確認ください。

3. 平成29年3月期の業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,050	11.8	30	△31.8	15	60.5	5	△66.7	0.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	11,200,000株	28年3月期	11,200,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	150,559株	28年3月期	150,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	11,049,577株	28年3月期3Q	11,049,616株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信（四半期決算短信）は、金融商品取引法に基づく監査手続（レビュー手続）の対象外であり、この決算短信（四半期決算短信）の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続（四半期財務諸表に対するレビュー手続）は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。平成29年3月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案し配当額を決定次第、速やかに開示いたします。なお、上記業績額予想に関する事項は添付資料2ページをご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや原材料価格の下落等を背景に、力強さは欠くものの企業収益は良好の一方、将来不安等を背景とした個人消費の低迷が長期化しております。依然として内需の脆弱が続くなか国内企業での設備投資は維持・更新投資に抑えるやや慎重な姿勢が続いております。

このような経営環境のもと、当社の業績は売上高3,816百万円(前年同四半期比16.8%増)となりました。損益面におきましては、営業利益48百万円(前年同四半期は営業利益14百万円)、経常利益47百万円(前年同四半期は経常利益5百万円)、四半期純利益38百万円(前年同四半期は四半期純損失14百万円)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

#### ① 製造事業

当第3四半期におきましては、引き続き真空ポンプ・送風機ともに順調に出荷が進み、売上高は前年同四半期比528百万円(18.5%)増加の3,378百万円となりましたが、損益面におきましては、9百万円の改善に留まり、セグメント損失281百万円となりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは2,005百万円(前年同四半期比19.0%増)、送風機・圧縮機は495百万円(前年同四半期比38.0%増)、部品および修理は876百万円(前年同四半期比10.3%増)の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、北米向け真空ポンプと韓国・中東向け大型送風機が寄与した結果602百万円(前年同四半期比81.2%増)となりました。

#### ② 不動産事業

オフィスビル賃貸市場の回復により、売上高は438百万円(前年同四半期比5.2%増)、セグメント利益329百万円(前年同四半期比8.1%増)の計上となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は471百万円増加し7,195百万円、負債は432百万円増加し5,634百万円、純資産は39百万円増加し1,560百万円となりました。総資産の増加は、現金及び預金が199百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が517百万円、たな卸資産が148百万円増加したこと等が主な要因です。

負債の増加は、長期借入金が186百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が592百万円増加したのが主な要因です。

純資産の増加は、利益剰余金が38百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末比0.9%低下し、21.7%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は現在の事業環境下、入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況下、受注の確保・原価低減及び諸経費の削減に重点を置いた諸施策を実施するとともに、業務の質を高め、諸施策を迅速かつ確実に遂行し、環境変化に強い利益体質を確立するよう努めてまいります。

なお、平成28年10月26日発表の通期業績予想に変更はありません。業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### (2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,533,973	1,334,458
受取手形及び売掛金	1,650,564	2,168,209
たな卸資産	844,112	992,784
その他	25,156	24,738
流動資産合計	4,053,806	4,520,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,471,570	1,445,045
土地	631,643	631,643
その他(純額)	104,522	108,877
有形固定資産合計	2,207,736	2,185,566
無形固定資産	7,319	33,828
投資その他の資産		
その他	463,975	465,121
貸倒引当金	△9,070	△9,037
投資その他の資産合計	454,904	456,083
固定資産合計	2,669,960	2,675,478
資産合計	6,723,767	7,195,669
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	965,373	1,558,021
短期借入金	948,416	977,730
未払法人税等	24,079	-
賞与引当金	64,697	20,028
その他	266,499	258,308
流動負債合計	2,269,065	2,814,088
固定負債		
長期借入金	1,894,236	1,708,150
退職給付引当金	471,013	505,703
役員退職慰労引当金	129,640	128,770
その他	438,586	478,095
固定負債合計	2,933,475	2,820,719
負債合計	5,202,540	5,634,807
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,930	303,930
利益剰余金	267,843	306,331
自己株式	△28,785	△28,815
株主資本合計	1,327,989	1,366,446
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	193,237	194,415
評価・換算差額等合計	193,237	194,415
純資産合計	1,521,227	1,560,861
負債純資産合計	6,723,767	7,195,669

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,267,242	3,816,973
売上原価	2,798,792	3,268,445
売上総利益	468,449	548,528
販売費及び一般管理費	454,074	500,091
営業利益	14,375	48,436
営業外収益		
受取利息	437	342
受取配当金	6,948	7,695
受取保険金	2,500	301
その他	14,336	19,341
営業外収益合計	24,222	27,682
営業外費用		
支払利息	32,044	27,623
その他	1,477	1,323
営業外費用合計	33,521	28,947
経常利益	5,075	47,171
特別利益		
固定資産売却益	3,374	-
特別利益合計	3,374	-
特別損失		
固定資産除却損	0	793
固定資産売却損	-	110
特別損失合計	0	903
税引前四半期純利益	8,449	46,268
法人税等	22,521	3,547
過年度法人税等	-	4,233
法人税等合計	22,521	7,780
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,071	38,487

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

## I 前第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,850,580	416,662	3,267,242
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,850,580	416,662	3,267,242
セグメント利益又は損失(△)	△290,414	304,789	14,375

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,378,853	438,120	3,816,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,378,853	438,120	3,816,973
セグメント利益又は損失(△)	△281,036	329,473	48,436

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

(セグメント別売上高)

(単位：千円)

	前第3四半期 平成27年4月1日から 平成27年12月31日まで		当第3四半期 平成28年4月1日から 平成28年12月31日まで		対前期比増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	増減率%
製造事業						
製品別						
真空ポンプ	1,685,165	51.6	2,005,151	52.5	319,986	19.0
送風機・圧縮機	358,944	11	495,434	13.0	136,490	38.0
部品及び修理	794,720	24.3	876,606	23.0	81,886	10.3
その他	11,750	0.4	1,660	0.0	△10,090	△85.9
製造事業計	2,850,580	87.2	3,378,853	88.5	528,273	18.5
内(輸出品※)	(332,753)	(10.2)	(602,925)	(15.8)	(270,172)	(81.2)
不動産事業	416,662	12.8	438,120	11.5	21,458	5.2
合計	3,267,242	100.0	3,816,973	100.0	549,731	16.8

(注) ※の輸出品構成比率は売上高合計に対するものです。

(製造事業受注高及び受注残高)

(単位：千円)

製造事業	受注高			受注残高		
	前第3四半期	当第3四半期	対前期比増減	前第3四半期	当第3四半期	対前期比増減
製品別						
真空ポンプ	1,712,209	1,999,894	287,684	503,319	482,209	△21,109
送風機・圧縮機	509,493	386,131	△123,361	422,792	258,328	△164,464
部品及び修理	852,350	906,702	54,351	168,686	187,205	18,519
その他	10,860	13,760	2,900	6,610	12,100	5,490
合計	3,084,913	3,306,488	221,574	1,101,408	939,843	△161,564